

平成30年9月26日

各位

日本軽金属株式会社

日軽産業株式会社

静岡市と共同でヒートアイランド対策舗装の実証実験を実施

日本軽金属グループの日軽産業㈱（本社 静岡市清水区、代表取締役社長 星 直之）と日本軽金属㈱（本社 東京都品川区、代表取締役社長 岡本一郎）は、静岡市と共同で、ヒートアイランド対策として路面温度を低減させる舗装の効果を検証する実証実験を実施しています。

（1）実証実験内容

冷却（放熱）効果の高いアルミナを配合した舗装の効果を確認するためのサンプル（2m×1m×3サンプル）を設置、従来の舗装との路面温度の違いを比較できるようにしております。これまでの効果確認では、従来のアスファルト舗装と比べ10℃程度の路面温度の低減を確認できております。

（2）実施場所

静岡市 西ヶ谷資源循環環境体験プラザ 足湯エリア付近
（静岡市葵区西ヶ谷553番地の2）

（3）実施期間

2018年8月11日（土）～2019年3月31日（日）（予定）

（4）今後の計画・展開

この実証実験を基に、本試験舗装による効果検証へと進めたうえで、将来、歩道や公園遊歩道道路への舗装と実用化していくことで、居心地の良い街づくりに貢献したいと考えております。

【実証実験に関するお問い合わせ】

日本軽金属株式会社 商品化事業化戦略プロジェクト室

TEL:03-5461-8875

日軽産業株式会社 名古屋支店

TEL:054-388-3276

【リリースに関するお問い合わせ】

日本軽金属株式会社 広報室 TEL :03-5461-9333

気候変動への『適応策』の重要性

温室効果ガス増加

日常生活から
二酸化炭素が
排出される

気候変動が起こる

- ・ 気温上昇
- ・ 降雨パターンの変化
- ・ 海面水位の上昇 等

気候変動による影響

- ・ 熱中症患者の増加
- ・ 農作物の高温障害
- ・ 感染症の増加 等

これまでは
緩和策が
主流でした

緩和

温室効果ガスの
排出を減らす

適応

被害を避ける・
軽くする

これからは
適応策も
必要不可欠

「緩和」と「適応」は温暖化対策の両輪として
どちらも欠かせない取組となります。

気候変動に『適応』するための一つの策

⇒官民連携による路面の暑さ対策

暑熱対策を進め、誰もが住み続けたいと思える
街づくりを目指していきます！

そのため・・・

静岡市と日本軽金属(株)が連携し、

『路面が熱くなりにくい舗装』の
実証実験をせずもーる西ヶ谷で実施



<実証実験内容>

4種類（アスファルト1種と、熱くなりにくい舗装3種）の舗装の
温度を測定・比較⇒どの舗装が最も熱くなりにくいかを検証

どうして舗装の表面が熱くなりにくいのか？

【特徴】 舗装材には、冷却（放熱）効果の高いアルミナ[※]を混ぜています。
【効果】 従来のアスファルトに比べ、路面温度が10℃程度低くなります。



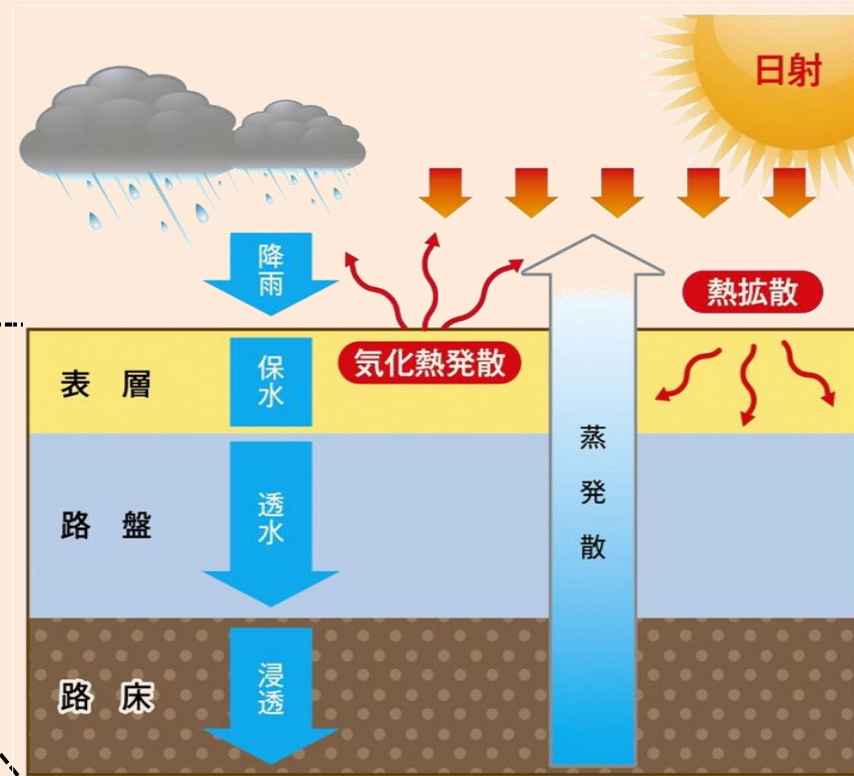
アルミナ（砂や砂利と同程度の大きさ）

表層の舗装に“アルミナ”を練り込んでいる！

路面はひんやり！

地中は常に低温

舗装面の熱を地中へ



※アルミナとは、アルミニウムの酸化物のことです。
今回の実験には、清水区三保の日本軽金属（株）清水工場で生産されたアルミナが使用されています。

路面の暑さ対策以外にも・・・

皆さんにも出来る『適応策』について

● 熱中症を予防しよう

熱中症予防のために、水をこまめに飲んだり、塩分補給をしたり、帽子を被ったりするようにしよう！



● 日傘を活用しよう

夏の日差しから身体を守り、暑さを軽減するため、外出時には日傘をさそう！



● 打ち水をしてみよう

暑い日は、地面に水をまくことで温度を下げるができるよ。打ち水には、お風呂の残り水などを使おう！



ここで挙げている以外にも、皆さんにも出来る『適応策』はあります。
今後は、地球温暖化の影響に備えるため、

一人ひとりが『適応策』について考え、
行動していきましょう！